

JSサッシュモルタル

■ 特長

1. サッシ廻り充填材として、水の透水を抑えた専用設計のモルタルです。
2. 軽量で、注入器での作業がスムーズに行えます。
3. ダレが少なく、クラックの発生を抑えています。
4. 現場調合と比較して、硬化体の断熱性が高く結露防止に効果があります。
5. 既調合で水を加えるだけなので、常に安定した性能が得られ、品質管理が容易です。

■ 用途

- サッシ開口部とコンクリートの隙間充填
- ALCとコンクリートの隙間充填

■ 適用下地

コンクリート・PC板・ALCパネル
コンクリートブロック

■ 標準施工仕様

| 標準配合 | | 比重(練上り容量) |
|------------|-----|---------------------|
| JSサッシュモルタル | 清水 | 1.45 kg/L (約21L) |
| 25kg(1袋) | 約6L | |

1㎡当たりの必要袋数: 47袋

■ 施工方法

下地処理

モルタルの接着を阻害するコンクリート脆弱層・レイタンス・油分・汚れを除去し水洗い等を行ってください。
塗り付け箇所は、必ずスタックプライマー#3の5倍希釈液をムラ無く塗布し、乾燥させてください。

混練

JSサッシュモルタル
1袋
25kg

清水
約6L



モルタルミキサー、ハンドミキサーで十分に混練りしてください。
※可使時間は約60分です。

塗り付け

注入器を用いて隙間なく充填してください。

養生

塗り付け後の養生期間は、春・夏・秋期7日間以上・冬期14日間以上としてください。

試験結果

| 試験項目 | 単位 | 試験結果 | | 試験方法 |
|--------|-------------------|--------------|----------|--------------|
| | | J S サッシュモルタル | 現場調合モルタル | |
| 単位容積質量 | kg/L | 1.45 | 2.05 | JIS A 1171 |
| フロー | mm | 175 | 175 | JIS A 6916 |
| 吸水量 | g | 9.5 | 13.0 | JIS A 1404 |
| 透水量 | ml/h | 0.40 | 0.70 | JIS A 6916 |
| 圧縮強度 | N/mm ² | 15.6 | 20.4 | JIS A 6916 |
| 曲げ強度 | N/mm ² | 3.32 | 4.10 | JIS A 6916 |
| 熱伝導率 | W/m・K | 0.68 | 2.02 | JIS A 1412-2 |

菊水化学工業株式会社 日本スタッコ技術試験室にて実施

ホルムアルデヒド放散等級数

| 日本建築仕上材工業会登録 | |
|------------------|--------------|
| 商品名 | J S サッシュモルタル |
| 表示登録番号 | 13100115 |
| ホルムアルデヒド放散等級区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 製造業者等名称 | 菊水化学工業株式会社 |
| ロット番号 | 梱包に表示 |

荷姿

25kg / 袋入り

※備考 多国語説明用QRコードの記載は、関西限定です。



施工上の注意 ●現場で水以外は混入しないで下さい。 ●清水には、水道水を使用して下さい。 ●塗り付け施工からモルタルが硬化するまで気温5℃以上を維持し、凍結防止の為に適切な養生を行って下さい。 ●直射日光の当たる所、通風の激しい場所での施工ではシート等で養生を行って下さい。 ●練り混ぜた材料は、1時間以内に使用して下さい。 ●直射日光下及び3℃以下での保管は避けて下さい。 ●湿気や雨掛かりに注意して保管して下さい。 **安全上の注意** ●取り扱い際は、保護メガネ・保護手袋等の保護具を着用して下さい。 ●取り扱い後は、顔・手・口等を洗浄して下さい。 ●材料が目に入った場合はただちに水洗いをしてすみやかに医師の診断を受けて下さい。 ●セメントのアルカリ分が皮膚の炎症をおこすおそれがありますので、かゆみや炎症等の症状のある場合は、すみやかに医師の診断を受けて下さい。 ●飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ医師の診断を受けて下さい。 ●漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染するおそれがありますので充分注意して下さい。

